

こんにちは

日本共産党 週刊県議会ニュース

2018年8月12日 NO.985



きらとみひこ
吉良富彦です

事務所 吉良富彦事務所 855-9439 愛宕商店街
議会控室 823-9524 県議会内

ビキニ国賠訟 29名が控訴へ

● 8月2日ビキニ水爆実験被災船員ら29名が控訴を決意。原告の増本和馬元船員は「私たち船員はアメリカと日本政府の交渉の材料でしかなかった。そのことを知らずに多くの船員は亡くなっている。国は国民の基本的な人権を優先し救済すべき、国民として認められていない怒りが控訴の原動力」

遺族の下元原告「ビキニだけでなく福島原発による被ばくも国は過少評価している。戦いはこれからで、まだ、終わっていない」と述べた。

船員保険申請を棄却 新たな救済立法を

●一方、11名の被災船員が救済を求め、船員保険の適



用を再申請していた事に対し関東信越厚生局審査官は7月30日、

棄却を決定。

判断の基準とした被曝量は、第5福竜丸でさえ0.08ミリシーベルトしか被曝していないとした「有識者会議」の報告で、不当なもので、中央審査会への再審査か裁判で

戦うこととなります。

●今後、国賠控訴の高松高裁、そして船員保険適用への戦い、3つ目は、地裁判決で示されたビキニ水爆被災者への「救済特別立法」を作るといふ新たな戦いが始まります。



●公教育を崩壊させない
全国シンポジウム
土佐町で開催



7月末、土佐町のNPO法人SOMのAの鈴木大裕さんと町がコラボして、お酒や赤牛など楽しみながら、地域に学



キラリン にやんでも通信

●今週の日曜版が特大合併号のため、来週はお休みとなります。立秋となりましたが酷暑続きます。くれぐれもご自愛くださいませ。

校を残し、公教育を自らのものとして発展させる事を考える会が開かれ参加。和田けんじ町議や川村議長とも公教育・学校を守ることは地域を守ることやき頑張りましょうとメールを交換しました。素晴らしい取り組みに感謝です。